

# 平成30年 春の国内工場見学会

平成30年5月21日(月)午前8時20分に集合して貸切りバスにて京都府へ向けて出発致しました。今回の見学先は①株式会社最上インクス 本社工場(京都市右京区)と②株式会社山岡製作所 本社工場(京都府城陽市)の2社を見学訪問致しました。最上インクス様、山岡製作所様ともに京都府金属プレス工業会の会員企業です。今回の見学会参加者は計32名(事務局含め33名)と沢山の方にご参加頂きました。

## ①【株式会社最上インクス】

創業1950年、資本金4,600万円、売上27.6億円、従業員165名(グループ総数)電機・電子部品(コネクタ・リレー・スイッチ)を中心に薄板精密金属加工品を主要製品としています。特に試作・開発品に特化しており55%~57%を占め、量産品は43%~45%でこちらは鳥取最上インクスに集約しているとのことです。今回は本社工場にて試作への取組みをご説明&見学させて頂きました。

試作は最上試作工房(2年前に分社化)にて、「おもろい会社」「ものづくりの革命児になる」をビジョンに掲げ、試作において世界一の超コンビニを目指し、売上目標は2020年に20億円を掲げ、人材育成にも力を入れておられ、一人ひとりが設計・生産・できばえ確認までやれる対応力を身に付ける多能工の技術者育成カリキュラムのご説明も大変興味深いものでした。



最上インクス 本社



最上インクスの会社説明



最上インクスの会社説明



最上インクスのショールーム

## ②【株式会社山岡製作所】

創業1938年、資本金6,240万円、従業員193名、金型部門、装置部門、量産部門の3部門を有し、プレス金型やモールド金型の設計製作からプレス機などの生産設備の設計製作、プレス部品や樹脂製品の量産対応、半導体製造装置など各種FA関連設備の受託生産まで、プレス加工におけるあらゆるニーズに対応し、高品質な製品を提供している。売上比率は金型と装置が各々40%～45%、量産が5%～10%とのこと。

今回の会社説明においては、山岡製作所独自の人材育成の制度について詳細にご説明頂きました。山岡技能経営(Management Of Skill)は人材育成を通して匠の技能者を育てる独自の取り組みです。1995年職能資格制度導入に始まり、1997年マンパワーUP活動、2000年V04戦略会議、2001年職能資格制度新会議、2009年スーパー職人制度など従業員に対するスキルマネジメントが徹底されています。各社員が目標を立て受講する教科を選び、会社も社員の努力や成長を援助する仕組みです。教育は時間外や土曜日などに実施しており、講師も社員が担当することで教える側もスキルアップする仕組みです。社員は達成度(スーパー職人金・銀・銅や技能検定特級・1級・2級など)に応じて職能給が与えられる制度とのこと。その徹底した教育制度に対し見学者から「やる気のない社員、嫌がる社員はいないのか」との質問がありましたが、「入社前から説明をしており、やる気のある社員が入社するので離職率が低い」という回答に感心させられることばかりでした。



山岡製作所の会社説明



部屋(食堂)の周囲には技能検定合格証など



山岡製作所の前で記念撮影

### 【最後に】

今回訪問した2社はともに特徴のある経営戦略を推進され将来ビジョンが明確でした。プレス業で生き抜いていく術を示して頂きました。工場内は5Sが行き届いており大変きれいでした。従業員も若い方が多く皆さん生き生きと働いておられました。プレス業なのにプレス機の音がしないことには大変驚き、こういうプレス業もあるのだと新しい発見と感心の見学会でした。